



相

桐光会広報誌
 第 13 号
 平成23年 5月27日発行
 調布病院広報委員会
 桐光会広報誌編集委員会

東日本大震災の医療支援を行っています

所 属	被 災 地	期 間	メンバ ー
東京都医療班 2陣 同 12陣	宮城県気仙沼市 同	3/16-19 4/21-23	医師 1名 医師 1名
大桃医師			
調布市JMAT班	宮城県石巻市	3/30-4/3	医師 1名
山田雄介医師			
全日病医療班	福島県南相馬市	4/7-10	医師 1名
大桃医師			
調布市JMAT班	宮城県石巻市	4/14-17	総勢 4名
山田亜矢医師・岡本医師・吉田薬剤師・田中事務員 (企画)			

被災地医療活動報告

H23/4/14～4/17

産婦人科／麻酔科 山田 亜矢

H23/4/14

AM3:45調布市医師会館に集合し、荷物搬入後出発した。東北道は福島より先が非常に渋滞しており、石巻市到着は11時頃であった。

そのまま湊小学校へ向かい、前任の多摩医師会チームより業務内容の引き継ぎを受けた。

原則午前中は湊小学校に常駐し、診療業務に当たる。午後は幹事チームが回診すべき他の診療所にチームを割りふって、回診に当たるチームと、湊小学校での診療を継続するチームに分かれた。

16時で業務終了し、宿泊所に向かった。

H23/4/15

この日も終日湊小学校での診療所を任された。午前中、岡本医師と山田亜矢医師は小学校内を巡回することにした。床で寝起きして腰やひざの痛みなど訴える被災者が多いのに驚いた。除圧マットの使用を勧めてまわった。3-1に要治療者が集められていると知り、訪室し、褥瘡のケアや肺炎患者の治療に当たった。



午後は、同じチームの調布市医師会の菅間医師が小学校周囲の自宅被災者を回って、診療所があることを知らせ、必要な患者は往診した。

診療所の場所を知らない被災者も多いため、自主的にポスターを作製して本部の入口など3か所に掲示することにした。

16時で診療終了し18時石巻日赤病院でのエリアミーティングに参加。



H23/4/16

幹事チームが交代。午前中は湊小学校での診療と、ポスター作製・掲示を行った。午後は祥光寮という知的障害者更生施設兼避難所に回診。避難者や施設入所者の診療に当たった。施設周囲は潮の関係で冠水する悪路で、狭い道路の先の分かりにくい場所だったので、到着するまで難渋した。施設周囲には自宅被災者も多数いるが、週に2回この場所で診療しているのをほとんど知らなかった。菅間医師が周囲を回ってここで診療していることを知らせると、近所の人たちも受診しにやってきた。

震災でかかりつけ医が流されて、それ以降薬もなく服薬内容も全くわからないという人もいた。

16時で診療終了し、18時に石巻日赤でミーティング。その際、他の医療チームからも、午後に巡回する避難所の周囲で生活する被災者は身近で診療が受けられることを知らない人がかなり多い、もっと曜日と時間を広くアナウンスすべきではないかとの声が上がっていた。

避難所生活における感染管理上のリスクアセスメント

市町村名 _____ 年度/年/月/日 _____
 避難所名 _____ 大体の人数 _____ 人数 _____ (所属) _____ (氏名) _____
 利用可能な医療機関あれば _____ (氏名) _____

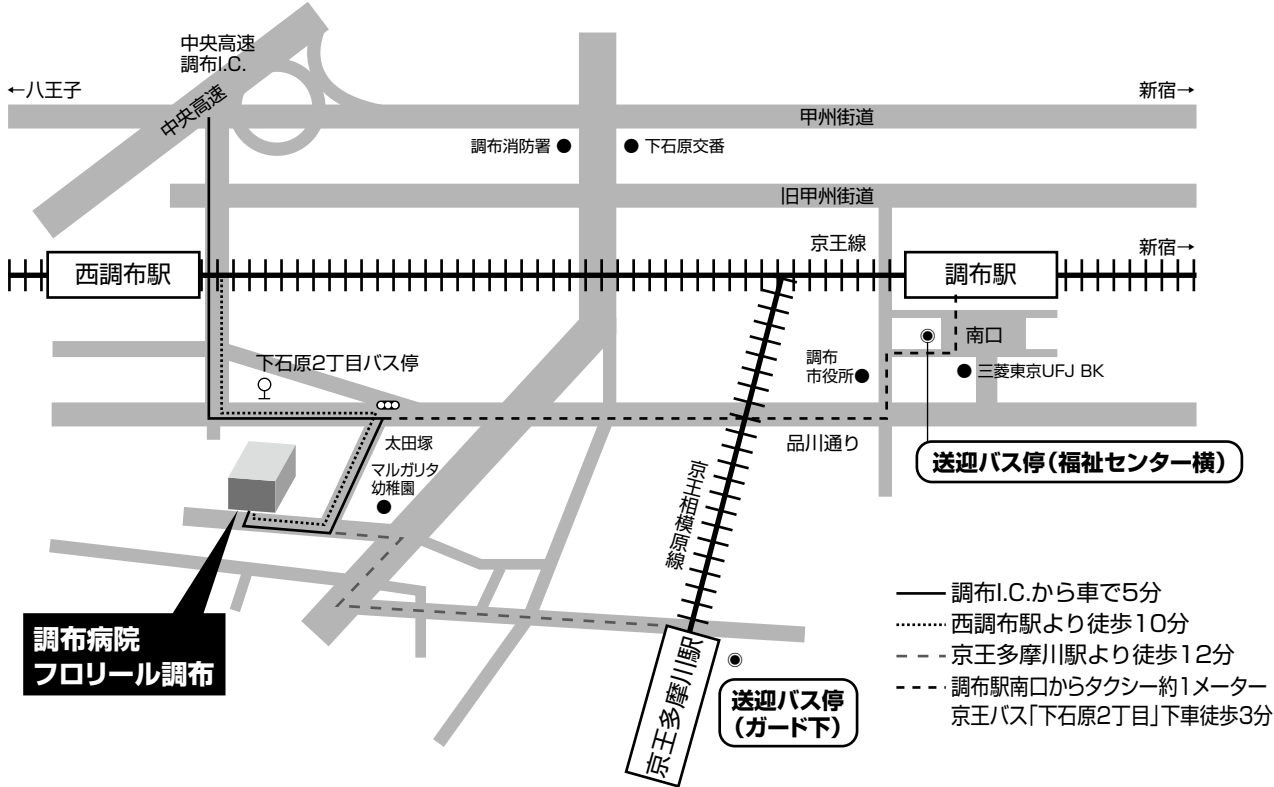
避難所の形態	リスク	評価
1 ホールなどに大人数が収容されている		ある・ない
2 教室の扉など、個別に収容する場所がある		ある・ない
3 1人あたりの面積は、1m以上確保されている		ある・ない
4 1人あたりの床の長さは約70cm、足の長さは約50cm		している・不十分・できない
5 高齢者(65才以上)		(大まか) いる・いない
6 妊婦		いる・いない
7 水道水が復旧している		している・していない
8 トイレは水洗で自動に洗うことができる		できる・不十分・ない
9 トイレの清掃		できる・不十分・ない
10 洗濯機などの洗濯場所が設けられている		できる・不十分・ない
11 調理者の手指衛生が可能		できる・不十分・ない
12 調理器具を洗うことができる		できる・不十分・ない
13 人数分の箸、コップ、皿など食器類		ある・不十分・ない
14 食器類を洗うことができる		できる・不十分・ない
15 換気扇や空調設備による換気が可能		できる・不十分・ない
16 換気扇、窓開けの窓を開けることができる		できる・不十分・ない
17 避難者の健康状態を把握している人がいる		している・していない
18 外部との連絡手段(電話・携帯)がある		ある・ない
21 石鹸		ある・不十分・ない
22 消毒薬(次亜塩素酸・ハイターなど)		ある・不十分・ない
23 体温計		ある・不十分・ない
24 発熱者(37.5℃以上を目安とする)		(可能であれば人数) いる(現在) 人、いない
25 呼吸器症状(咳、痰、気管支炎など)を有する方		いる(現在) 人、いない
26 消化器症状(嘔吐、下痢など)を有する方		いる(現在) 人、いない
27 発疹を有する方		いる(現在) 人、いない
28 身体介護を要する人		(可能であれば人数) いる(現在) 人、いない
29 認知症のある人		いる(現在) 人、いない
30 身体障害者で支援を要する人		いる(現在) 人、いない
31 知的障害者で支援を要する人		いる(現在) 人、いない
32 精神疾患を抱え、服薬中の人		いる(現在) 人、いない
その他の特記事項		

東北感病制御ネットワーク 平成23年3月21日

H23/4/17

湊小学校で診療。昼に三鷹医師会チームが到着したので、業務の引き継ぎを行って終了した。

疾病としては風邪症状、花粉症、褥瘡(軽度)、膝関節痛、腰痛、高血圧・糖尿病など持病のコントロールが多かった。外傷は思ったより少なかった。



送迎バス時刻表 福祉センター横 ←→ 調布病院

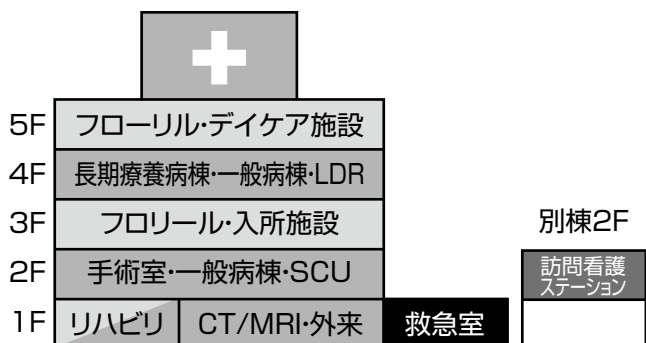
調布駅発		調布病院発	
10 30 37	8	00 20 50	
00 20 40	9	10 30 50	
00 20 40	10	10 30 50	
00 20 40	11	10 30 50	
00 20 40	12	10 30 50	
00 30 40	1	20 30	
10 40	2	00 30	
20 40	3	10 30 50	
00 40	4	30 50	
00 25	5	15	
10	6	00	

○月～金曜日のみ ●火～土曜日のみ ●月曜日のみ ●土曜日のみ



京王多摩川駅経由、京王多摩川からの送迎バスの時刻は調布駅発3～5分後です。日曜祝祭日は運行しておりません。

地域密着型 医療+介護複合施設



医療法人社団 桐光会

182-0034 東京都調布市下石原3-45-1
<http://www.tokokai.or.jp>

調布病院

Tel.042-484-2626(代) Fax.042-481-0323

医療連携室

Tel.042-484-2513(直通)

介護老人保健施設 フロリール調布

Tel.042-484-2627

調布訪問看護ステーション

Tel.042-443-9765